

「健康しが」活動創出支援事業 助成対象団体一覧 「テーマ③子ども」

No.	団体等名称	事業区分	事業タイトル	事業計画概要
1	特定非営利活動法人NPO子どもネットワークセンター天気が村	③ 子どもの育ちを支える居場所づくりに資する取組	空間・夢・出会いが作る「丈夫な頭と賢い身体」居場所事業	地域で子どもが自由に遊んだり、自然とふれあう環境を整えるには、公園だけでなく、地域の多様な空間資源を総合的に捉え、それらの利用のあり方を検討することが重要である。これまで20年間の実績を踏まえ、現状の子どもの周辺に起こっている課題解決が急務とであると考え、そのためには親、地域、地域資源を巻き込んだ活動、事業が必要であると強い思いを持っている。
2	ばれっとしが	③ 子どもの育ちを支える居場所づくりに資する取組	居場所「ばれっとしが」をつくらう	みんなでみんなの子どもを育てる居場所づくり。子どもたちや親子が、気軽に立ち寄ることができ、地域社会や市町村と繋がる拠点となる場所「ばれっとしが」を立ち上げる。「こどもの健康な居場所づくり」にまずは、3つの色をばれっとしがの活動とし始める。①(ぴんく) パネルシアターを通じて子どもたちや親子の心と身体の健康づくり。②(みどり) マイカメラスタジオは、子どもが小さい今だけの(0~2歳)セルフ写真館。③(パーじゅ) 地域の情報誌の発行。0~2歳の子どもを持つ親子の為の情報誌。地域の情報やイベント開催、場所の提供、社会を生き抜く力を育む機会や環境、様々な角度で心と身体の健康づくりを行う。イベント等で親子が拠点となる場所へ来てもらうことにより、地域の情報を得たり、コミュニケーションの中で、親子や家庭が今抱えている課題や問題解決に繋げる協力ツールとする。今後は、(おれんじ) 児童や学生も対象にしつつ、(あお) 地域・滋養を取り入れた滋養材の良さ発見にも取り組む。
3	認定NPO法人TSC	③ 子どもの育ちを支える居場所づくりに資する取組	フリースクールの学童保育	滋賀県内の小学生を対象とした自然体験型の学童保育事業。自然の中でのびのび過ごす放課後。心も身体も解放的な活動の場所を提供する。
4	一般社団法人笑縁プロジェクト	③ 子どもの育ちを支える居場所づくりに資する取組	子どものキャリア教育を地域で！プロジェクト「笑家尊塾分校 子ども探検クラブ」	不登校や言葉の壁など様々な事情により、本来学校で得られるであろう情報や体験を得られずにいる子どもたちを対象に地域での民間版コミュニティースクールを実施する。主にキャリア教育の視点から、居場所をふやせるキッカケづくりの一つとなるようなカリキュラム提供を試行錯誤したい。働く大人が話す経験談を聞いたり、体験を共有しながらコミュニケーションを図りながら、地域でのかわりを増やし子どもたちが安心して話せる場をつくることで、大きな問題になる前の発見や見守りにつながればとも考えている。子どもたちの近い将来における職業選択の幅が広がることを願い、多様な団体・人に協力いただきながら子どもの心身の健康と、より豊かな日常を送る動機づけとなるような活動にしたい。
5	特定非営利活動法人フリースクールてだのふあ	③ 子どもの育ちを支える居場所づくりに資する取組	不登校の子どもたちに ゆたかな体験活動を！	当スクールは、2020年4月、彦根市を拠点に立ち上げました。スクールには、長浜市や米原市、東近江市、愛荘町を含む地域からも通所しており、広域活動を展開しています。申請現在、25人に増加し、今秋には古民家への転居を予定しているところです。通常のスクール事業では、月～金、終日開講。芸術や文化、スポーツなど様々な体験活動を重視し、月2回、山、川、琵琶湖を舞台に自然教室を開催しています。こうした体験活動を通して、健康の増進、健全な心身の育成、自己肯定感の高揚、生きる力の回復、さらには、個性をゆたかに開花してほしいと願っています。結果として、健康年齢の向上に貢献するものと考えます。
6	NPO法人 Since	③ 子どもの育ちを支える居場所づくりに資する取組	滋賀県各市における移動型居場所事業	滋賀県各市において、不登校の子どもたちを対象に移動型の居場所の開催する。近江八幡市・草津市・大津市・東近江市など、複数市にまたがって支援を行う。子どもの居場所を開催し、心身ともに健康な状態を目指す。居場所において、人との関わりのなかで【①自己肯定感の醸成】及び【②孤独感の解消】を目標とし、子どもたちの心が健全かつ豊かである状態を目指す。さらに、居場所の開催時間や活動内容を工夫することで、【③生活リズムの維持】及び【④運動機械の確保】を狙い、子どもたちの身体的な健康の確保にも注力する。各NPO法人やフリースクール、不登校保護者の会などと連携・協力を行う。子どもを中心に多角的な視点から個人へのアプローチを試みる。
7	おおたき里づくりネットワーク	③ 子どもの育ちを支える居場所づくりに資する取組	大滝ものづくりラボ～子どもたちの未来づくり拠点	犬上郡多賀町の大滝地域は、人口減少、少子高齢化が進み、地域にある大滝小学校はでは、児童数が減少し存続が危ぶまれています。また、大滝小学校自体には学童保育所が無い状態です。地域に子どもの居場所となる場所がありません。本事業では、改修した空き家(大滝神社の宮司宅で現在はシェアハウスとして活用)の1階部分を活用し、子どもたちの「ものづくりの拠点」として、「大滝ものづくりラボ(仮称)」を開設します。ものづくりラボでは、大滝の地域資源(人的資源含む)を活かした、子どもたちでもできる「ものづくり・元気づくり」を実施します。ものづくりの「場」と「機会」を提供することで、多様なケースに対応した子どもたちの育ちを支える居場所を創造し、子どもたちの心と身体の健康に寄与し、子どもたちの未来を育みます。「ものづくり・元気づくり」のメニューとして以下を開催します。 ①大滝の菓子づくり名人に学ぶ「お菓子づくり」 ②デジタル技術を用いた「大滝グッズづくり」 ③デジタルゲームで楽しむ「元気づくり」 ④大滝の美味しいを楽しむ「みんなの食堂」 なお、拠点と各集落との距離があるので、⑤試験的な送迎サービスも行います。

No.	団体等名称	事業区分	事業タイトル	事業計画概要
8	特定非営利活動法人 ひわの音・西近江	③ 子どもの育ちを支える居場所づくりに資する取組	多世代・多様性ごちゃまぜの出張型「運動あそび」の推進（コミュニティスペースFLATの活動）	本事業は、出張型の「運動あそび」を県内全域で展開する。活動場所を固定化せず、馴染みの場所で身近に身体を動かす機会をつくる。本事業の「運動あそび」は、子どもの性別・運動神経・障がいの有無に関わらずルールや道具を工夫してみんなが参加できるようにし、多様性を受け止めつつ、肯定感が高まるような配慮を「運動あそび」に取り入れ行う。県内各所に子どもたちが身体を動かせる機会をつくり、単に子どもたちの運動不足が解消されるだけでなく、「運動あそび」を通して人とのつながりを育み、心身の健康づくりに寄与したい。
9	絵本による街づくりの会	③ 子どもの育ちを支える居場所づくりに資する取組	絵本と里山の自然に触れるお散歩	基本的に3回（毎月1回の3か月連続等）連続の事業とし、「お散歩」という体を動かすアウトドア活動を絵本を入り口にしたインドアイベントと融合させ、「お散歩」自体に目的や意味を持たせ、お散歩を習慣化させ、より楽しく有意義で魅力的なものに生まれ変わらせます。①絵本『ペーパーわんこ絵本 コタロウ』をテキストにして、ペーパーわんこを作って、里山の支援あふれるマキノ町を散歩して、里山の自然をバックにしてペーパーわんこの写真を撮ります。②絵本作家金尾恵子さんを迎えて、絵本原画の鑑賞と里山の生き物についてのお話を聞いて、実際に里山の散歩に出かけます。③絵本『ばばあちゃんのやきいもたいかい』をテキストにして、里山の自然の中で焼き芋大会を開催します。
10	NPO法人 Take-Liaison	③ 子どもの育ちを支える居場所づくりに資する取組	子どもの健やかな自立サポート事業	学校に行かない日の子どもいきいき応援室「ほわっとリエゾン」 実施日：週3回（月・水・金） 対象者：学校に登校しづらい状況の子どもや通信制・単位制・定時制に通う高校生およびその保護者 目的：不登校等で学力や集団適応力を身につける機会が持ちにくく、学力補充が必要な子どもに学習支援をしたり、ものづくり等の体験をしたりしながら、自分の得意なことを見つけ、他者との交流を深め、生きる力を身につける機会とする。